

令和7年度 医療法人恭昭会 彦根中央病院

勤務医の負担軽減実施計画

○ 勤務医の負担軽減実施計画の策定目的

医師が業務に専念することにより、速やかに業務運営を推進するため計画を策定する。

○ 医師の負担軽減の手法

問題点	現状	具体的な計画	達成状況
宿直業務の軽減	常勤医師13名のうち半数が60歳を超える中、宿日直業務が負担となっております。また、求人する際求職者の多くが勤務条件に宿直免除を希望しており医師確保の観点から宿日直の軽減が必要であります。	宿直業務をできる限り非常勤対応し業務軽減する。(スポット求人・定期非常勤・過去勤務医師)を募集。	97%
常勤医師の確保		求人票の勤務条件に宿日直非常勤対応を掲載	

○ 適切な役割分担

医師の専門性が必要のない業務が多い	医師以外が対応可能業務を選定し医師事務の適正な配置を行う。	各医師の業務状況を把握の上、医師事務作業補助者を配置する(病棟スタッフステーション、外来、手術室、医局)	適応人材不足のため 0%
	多くの書類作成(診断書・証明書類・認定書類等々)に多くの時間を取られ本来の病棟活動に影響している	DXを推進、電子カルテを利用しデータ化し診断書・研究等々に利用することにより書類作成を簡単にできる。	打合せ中 0%